

令和 7 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	倶知安町ゼロカーボン戦略策定事業
補助事業者名	北海道虻田郡倶知安町長 文 字 一 志
補助事業の概要	持続可能な地域社会の構築と2050年までの脱炭素社会（ゼロカーボンシティ）の実現に向け、倶知安町の環境政策の最上位計画として「倶知安町ゼロカーボン戦略（環境基本計画）」を策定するものである。 2007年に策定された「環境基本計画」の改訂に合わせて、これまで未策定であった地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、生物多様性地域戦略、地域気候変動適応計画の3つの計画を統合し、包括的な戦略として体系化を行う。
総事業費	26,400,000 円
補助金充当額	26,400,000 円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】	・保護地域を明確とする等、将来像と目標の成果指標を明確にする。 ・目標達成のための対策施策（町民や事業者向けに環境教育や普及啓発、保護地域に対する助成制度等）を明確にする。 ・2030年度までに公共施設への再エネ導入の達成：2施設 ・住民向け広報・広報誌等での記載（最新状況と目標年度との乖離等）：各年度1回
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	「自然と響き合うまち、倶知安～未来へつなぐ、美しい景観～」を本町が目指すべき姿と設定し、4つの基本目標の達成に向けた施策を町民、事業者、行政の目線から整理を行い、21項目の数値目標を設定した。 ・2030年度までに公共施設への再エネ導入の達成：1施設で導入予定（プール絵本館複合施設） ・住民向け広報・広報誌等での記載（最新状況と目標年度との乖離等）：令和8年度内容について精査中
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】	・町民及び町内企業の生物多様性が地域資源として重要であることの認知度が向上する。 ・生物多様性や人と自然の繋がりを重要視する価値観が形成され、自然環境を保全再生する活動を促進させる。 ・脱炭素のみならず、生物多様性が地域の観光及び生物資源として重要な役割を果たし、観光需要の強化となり、地域産業の振興、雇用の創出につながる。 ・2030年度にネイチャーポジティブを実現する。 ・2030年度までに事務事業における温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減

	・ 2030 年度までに区域の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46%以上削減 ・ 2050 年度までに区域の温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 100%削減 ・ 公共施設への再エネ導入の拡大	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況 【任意】		
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	持続可能なまちづくりや国際的に多様性のあるまちづくりを進めている中、2050 年カーボンニュートラル実現に向け、地域の環境およびエネルギーの課題解決に資する包括的戦略（倶知安町ゼロカーボン戦略）策定を目的とする。
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	北電総合設計株式会社
	契約金額（間接補助金額）	26,400,000 円
来年度以降の事業見通し	倶知安町ゼロカーボン戦略（環境基本計画）により整理した、下記 4 つの基本目標に沿った施策を実施する。 基本目標 1 ゼロカーボン達成に向けてエネルギーを賢く使うまち 基本目標 2 豊かな自然を大切に、多様な生物と共生するまち 基本目標 3 健康で安心して暮らせる、美しいまち 基本目標 4 環境を守るために、行動する人をはぐくむまち	

（備考）

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。